

令和元年度
税に関する

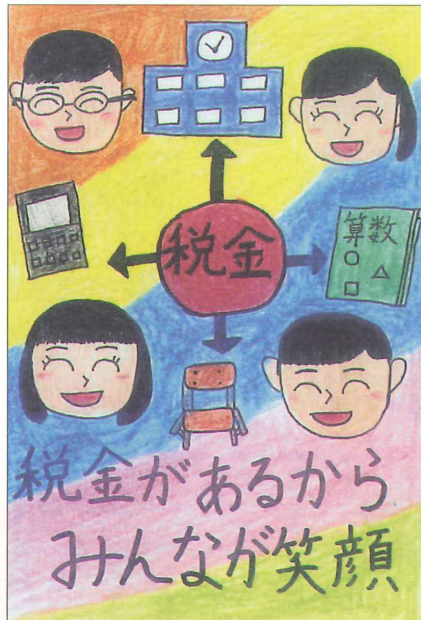
絵はがきコンクール

宮古法人会会長賞



山田町立山田南小学校
6年 佐藤 花音さん

宮古税務署長賞



岩泉町立小川小学校
6年 澤里菜々実さん

宮古法人会女性部会長賞



宮古市立花輪小学校
6年 黒田 涼晴さん

令和元年度税に関する絵はがきコンクール（宮古法人会女性部会主催、国税庁後援）が宮古下閉伊管内の小学校6年生を対象に実施され、8校133名の応募がありました。1月28日、小野寺正治宮古税務署長、中山忠人沿岸広域振興局県税室長、平井亮吉宮古市教育委員、田代英紀宮古税務署統括国税調査官、宮古法人会関係者そして絵の専門的見地から佐藤和男宮古小学校校長による審査会が行われ、宮古法人会会長賞以下各賞が決定されました。応募作品は宮古合同庁舎4階で確定申告期間中（2.2.17～3.16）展示されました。

昨年の台風19号及び大雨により被害を受けられた皆様に心よりお見舞い申し上げます。

令和2年3月 公益社団法人宮古法人会

contents

目次

税に関する絵はがきコンクール	1～2
行動する法人会	3～7
税制に関する提言活動	3
租税教育	4
講演会・研修会・部会活動	5～6
社会貢献活動	7
中学生の「税についての作文」入賞作品	8
紙上講演会	9
トピックス	10
自主点検チェックシート	11

めいじまの 企業の繁栄と社会の貢献 法人会

法人会のキャッチフレーズ

法人会は
よき経営者とならざるもの団体として
会員の積極的な自己啓蒙を
納税意識の向上と
企業経営および社会の
健全な発展に貢献します

法人会の基本的指針

優 秀 賞



宮古市立宮古小学校 6年 佐々木唯衣さん



宮古市立藤原小学校 6年 姉石乃々子さん



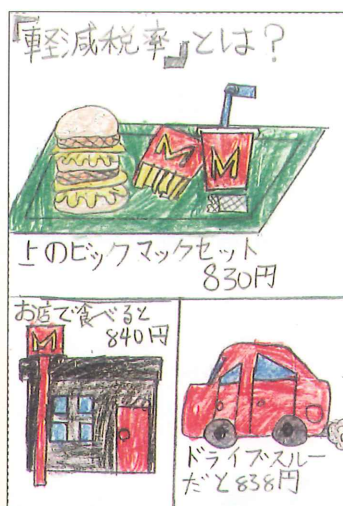
宮古市立藤原小学校 6年 佐々木唯衣さん



宮古市立千徳小学校 6年 伊藤 怜華さん



宮古市立藤原小学校 6年 飛澤 依織さん



田野畑村立田野畑小学校 6年 佐藤啓一郎さん



山田町立山田南小学校 6年 小野 茅咲さん

奨 励 賞

- | | | | | | |
|-----------|----|---------|-------------|----|---------|
| 宮古市立宮古小学校 | 6年 | 久保田来夢さん | 山田町立山田南小学校 | 6年 | 山崎 珀さん |
| 宮古市立宮古小学校 | 6年 | 佐藤 圭恵さん | 山田町立織笠小学校 | 6年 | 沼崎ひかりさん |
| 宮古市立宮古小学校 | 6年 | 嶋 琳々依さん | 田野畑村立田野畑小学校 | 6年 | 町平 秋桜さん |
| 宮古市立花輪小学校 | 6年 | 小川 真央さん | 田野畑村立田野畑小学校 | 6年 | 佐々木歩俐さん |

行動する法人会

第36回法人会全国大会三重大会



10月3日、三重県津市産業スポーツセンターにおいて全国の法人会から約1,600名が参加し、法人会全国大会が開催されました。宮古法人会からも寺崎会長以下2名が参加しました。第1部記念講演では、伊勢神宮広報室広報課長の音羽悟氏が「皇室と神宮」と題し講演。第2部式典では、「令和2年度税制改正に関する提言報告」「大会宣言」が読み上げられました。第37回全国大会岩手大会は令和2年10月8日に盛岡市で開催される予定です。

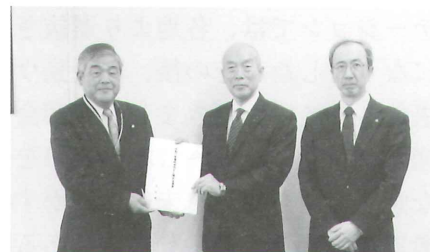
令和2年度 税制改正提言を実施



地元選出国會議員



宮古市副市長（左）



宮古市議會議長（左）



山田町長（右）



岩泉町長（左）



田野畑村長（右）

令和2年度税制改正スローガン

- 経済の再生と財政健全化を目指し、歳出・歳入の一体的改革を！
- 適正な負担と給付の重点化・効率化で持続可能な社会保障制度の確立を！
- 中小企業は日本経済の礎。活力向上のための税制措置拡充を！
- 中小企業にとって事業承継は重要な課題。本格的な事業承継税制の創設を！

租 税 教 育 事 業

第33回法人会 全国青年の集い「大分大会」(1. 11. 7~11.8)



記念式典



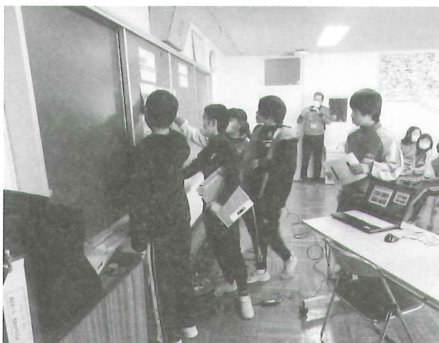
部会長サミットに参加した
杉本部会長(左下)



宮古法人会から
5名参加

『湧き上がれ！未来を動かす熱きパワー！～「豊の国おおいた」からの第一歩～』をテーマに第33回法人会全国青年の集い「大分大会」が開催され、宮古法人会からも5名が参加しました。租税教育活動プレゼンテーションでは、各地より選抜された局連代表によるプレゼンが発表されどの発表も素晴らしく非常に参考になりました。その後、部会長ウェルカムパーティーに出席し、各地青年部の部会長の皆様と大分の魅力を堪能させていただきました。部会長サミットでは青年部の新たな取り組みとなる「財政健全化のための健康経営プロジェクト～日本の未来を担う子供たちのために～」の普及、浸透に向け地域のリーダーたちの活発な意見交換を行い、未来を動かす行動の第一歩となる機会を創出できる非常に有意義な時間でした。大会式典では、青年部会活動の柱である租税教育活動や部会員増強について、一年間の取り組みと成果を発表・表彰し、全国青年部会の連携強化、更なる活動の発展を感じさせていただいた良い式典でした。記念講演では「ポジティブ志向～健康な心と体で未来を動かす～」をテーマにアンミカ氏の講演を聞くことが出来ました。ポジティブな思考の重要性や人の心をつかむコミュニケーション力など日々の活動につながる非常に貴重なお話を伺うことが出来ました。今回の経験を活かし宮古法人会にフィードバックできるように活動して参ります。
(杉本裕樹青年部会長成果報告要旨)

租 税 教 室



宮古市立宮古小学校
(女性部会 1. 12. 11)



宮古市立崎山小学校
(青年部会 1. 12. 16)

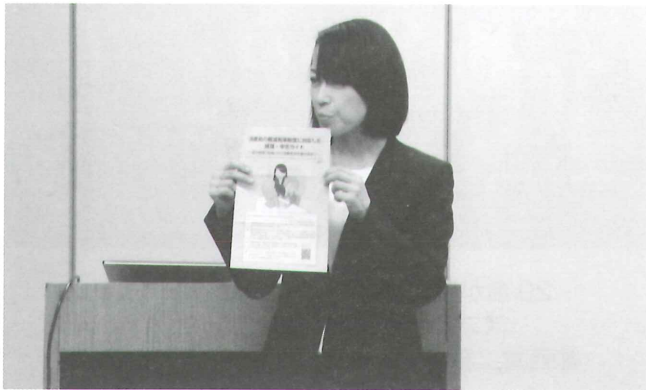


宮古市立田老第一小学校
(青年部会 1. 12. 20)

講演会・研修会・部会活動

軽減税率対策セミナー

(1. 10. 17 宮古ホテル沢田屋)



アルト経営パートナー(株) 代表取締役 加藤 敦子氏
「軽減税率緊急対応講座」

移動研修会 IN 田野畑

(1. 11. 5 ホテル羅賀荘)



田野畑山地酪農牛乳(株) 代表取締役社長 吉塚 公雄氏
「山地酪農で描く豊かな人生」

公的機関合同実務研修会

(1. 11. 28 シートピアなど)

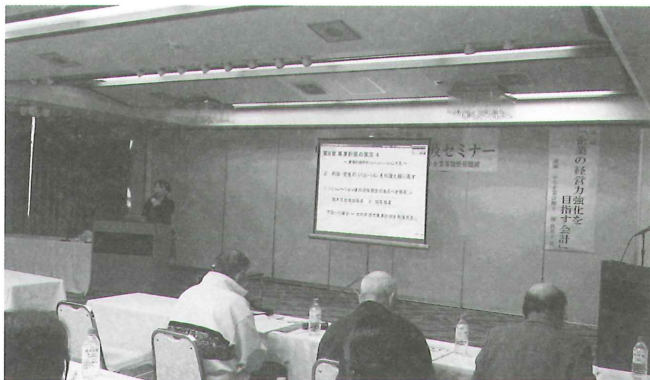


機関名	講師	テーマ
宮古労働基準監督署	監督課長 上田 裕之 氏	働き方改革関連法の説明
宮古警察署	生活安全課長 木野下博道 氏	犯罪のない安全で住みよい街づくりのために
宮古公共職業安定所	就職促進指導官 田中 敏彦 氏	魅力ある求人票の作り方について
宮古年金事務所	お客様相談室長 大志田 要 氏	60歳以後の年金額調整の仕組み
宮古税務署	法人課税部門統括国税調査官 田代 英紀 氏	消費税軽減税率制度等について ～区分経理から消費税申告書の作成まで～
沿岸広域振興局県税室	課税課長 稲垣 孝教 氏	県税室からのお知らせ

関係機関の講師の皆様ご協力ありがとうございました。

中小企業会計啓発・普及セミナー

(1. 11. 19 宮古ホテル沢田屋)



中小企業診断士 橘 真美子 氏
「企業の経営力強化を目指す会計」

ゴルフ大会

(1.11.19 宮古カントリークラブ)



20名が参加、好プレー、珍プレー続出
スコアをまとめた(まとまった?)
(株)西倉工務店の西倉正三氏がタイトルを獲得

令和2年 新春の集い

(2. 1. 24 浄土ヶ浜パークホテル)



東京大学医学部附属病院放射線治療部門長 中川恵一 先生 「世界一受けたいがんの授業」

新春の集い講演会が大同生命保険(株)の共催のもとで浄土ヶ浜パークホテルにて開催され、会員や一般市民など96名が聴講しました。中川先生は自らの膀胱ガン体験を話され、ガンはわずかな知識があるか無いかによって人生が大きく変わる病気なので正しい知識を持つことが大事と強調。そして定期検診を欠かさず受けるべきだと強調されていました。

健康セミナー

(2. 2. 12 宮古ホテル沢田屋)



漫才師 林家 まる子 氏 「笑いは一番の健康法」

女性部会主幹の健康セミナーが宮古ホテル沢田屋にて開催され、女性部会会員や一般市民など41名が聴講しました。林家氏は豊富な芸能生活から学んだことなど巧みな話術で紹介、「人はメンタルが蝕まれると笑えなくなる。笑えなくなると病気になる。笑いは副作用のない健康法」と話され、終始笑いの絶えない講演でした。第2部では女性部会の新年会にも参加され大いに盛り上がりました。

社会貢献活動



寄贈事業 (1. 10. 10)

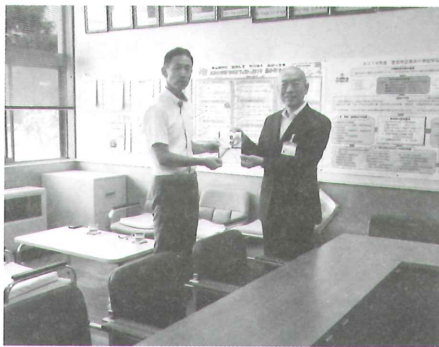
宮古法人会の今年度の社会貢献事業として宮古市立磯鶏小学校にヒバ製の屋根付き屋外掲示板を寄贈しました。掲示板上部には児童から募った「笑顔・全力」の字が書かれており、児童代表の盛岩秀哉君（6年）は「感謝の思いを胸に、よりよい磯鶏小を築いていきたい」とあいさつしました。



法人会杯争奪卓球大会 (1. 11. 2)

第18回宮古法人会杯争奪宮古下閉伊オープンダブルス卓球大会が、宮古市シーアリーナを会場に開催されました。この大会は宮古市卓球協会主管のもとに毎年開催されており宮古下閉伊管内をはじめ洋野町、大船渡市からも、小学校からシニアまで233名の選手が参加し熱戦が繰り広げられました。

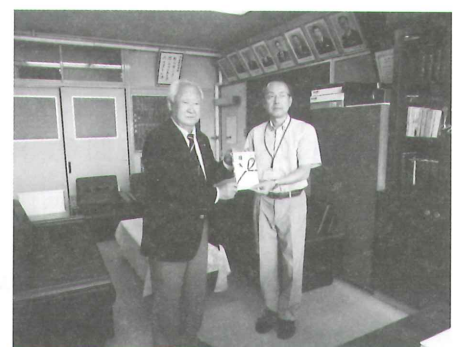
神奈川県連戸塚法人会・緑法人会から寄付金贈呈



宮古市立高浜小学校



宮古市立崎山小学校



山田町立山田南小学校

宮古法人会は、管内の宮古市立崎山小学校、高浜小学校及び山田町立山田南小学校の3校に寄付金の目録を届けました。これは、岩手県連が横浜市戸塚法人会と緑法人会から寄せられた復興支援寄付金（合計40万円）を、被災地学校の備品等支援として贈ったもの。宮古法人会では震災前から管内の小学校で租税教室や「税に関する絵はがきコンクール」を実施していますが、今回寄贈した3校は積極的にこの事業に参加しており、その協力に感謝を込めた寄付でもあります。崎山小学校、高浜小学校には寺崎会長が（9月25日）、山田南小学校には阿部山田支部長（10月1日）が訪問し、各校長先生に目録を渡しました。それぞれの校長先生からは「皆様のご厚意に感謝します。いただきました寄付金につきましては、児童が使用する備品取得等で有効に活用させていただきます」と感謝の言葉が述べられました。

公益社団法人全国法人会総連合会長賞 税金がつくる「命の道路」

宮古市立重茂中学校 三年 柁家 寧皇

私が住んでいる「重茂半島」は、三陸海岸最大の半島で、本州最東端にあります。アワビ、ワカメの生産日本一を誇り、ウニの産地としても有名、海の幸に恵まれた素敵なところですよ。

しかし、半島のほとんどが森で覆われ、起伏も激しいため、重茂を通る道路は、細く、急なカーブが多い道となります。しかも、宮古市の中心部からは二十キロ以上も離れているため、車で四十分近くかかることとなります。バスだと一時間です。救急車を呼ぶことになると、最寄りの消防署から重茂に来る時間もプラスされるため、病院に到着するまでに一時間半以上かかるのです。それでも、買い物や通学のためには、必要で、重茂が街とつながる大切な唯一の道路です。だから、その道路が寸断されると、重茂の人たちは孤立し、命の危険にさらされることとなります。記憶に新しいところでは東日本大震災。宮古市の中心部に続く唯一の道路が、津波の影響で崩壊し、千鶏・石浜地区は四日間孤立することとなりました。

そこで、震災の翌年から、重茂半島線の道路整備が始まりました。私達重茂中学校の生徒は、一昨年、採掘が終わったばかりのトンネルを見学させてもらい、全校生徒でトンネルの内壁に願いなどを書かせてもらいました。私は「重茂がますます発展しますように…」と書きました。その時の期待感、わくわく感はいまだに心に残っています。

そして、今年三月十六日、重茂トンネルが開通しました。トンネルが開通したことで道路は真っすぐになり、宮古市の中心部への道のりも近くなりました。所要時間は十分程度短縮され、津波の影響がない道だけを通して国道に出られる

ようになりました。崩壊、寸断の危険性が少ない、まさに命をつなぐ「命の道路」になったのです。重茂地区の人たちの悲願だった重茂トンネル開通、道路整備完成を通して、私は税金というしるみを身近に感じ、税金の大切さを考えることができました。

今年の十月に消費税が十%に上がることで税金に対する世間の関心も上がっています。お財布から出ていく金額が増えるため、負担感も大きく、不満をもつ人もいますが、集められた税金がどんなことに使われているかを知ることで、その気持ちは変わるのだと思います。

道路を整備するために、税金が使われています。地域の人たちの利便性の向上のため、また、安心・安全な生活のために、税金は使われています。「命の道路」をつくってもらったことに感謝し、この感激と税金の大切さを、大人になったときに、重茂の子どもたちに伝えていけたら…。と思います。そして、多くの人の命を守る税金を、しっかり納められるような大人になりたいです。



写真左から小野寺正治税務署長
柁家寧皇さん、石積泰弘重茂中学校長
寺崎勉宮古法人会会長

「鶏口となるも牛後となるなかれ」を常に心にもちつつも、牛の尾に必死にしがみつき仕事を覚えていた若き頃を思い出す。上司の指示は真面目に聞いてきたと自分では思っていたのだが、当時の大先輩と食事すると「お前は天邪鬼だったよ」と指摘される。そうかもしれない。

とにかく鶏口でいいから先頭を走りたいという気持ちが、上司の指示に従いながらも、俺だったらこうやるのにとの気持ちを捨てなかったから。要は素直に動かなかつたし、時には口に出して反発したこともあった。それを受け止めてくれた度量の深い先輩たちに、今さらながら感謝しかない。

ところが、新聞社の後輩たちに聞くと、入社間もない新人記者に仕事を指示しても、理由が分からないことや非効率な内容だと、返事は「嫌です」と言われ面食らうと嘆いていた。信じられない光景だと思う。「ノーと言えない日本人」という本があったが、今はノーとはっきり言える若者が増えている。特殊な世界だからかもしれないが。

昔は喜び勇んで出かけた海外出張も今は行きたがらないそうだ。もちろん遊びでいく海外は別らしい。まず同棲してみてから次の展開に進むケースは一般的という。友人と会うと子供たちの結婚の話題になるが、そこで仕入れた話だ。

画一的だった“夢”は多様化へ

時代の変化をつくづく感じる出来事はまだまだある。サラリーマンの夢といえば、マイホー

ムが一番で次にマイカーだった。自分もそうだった。ローンの返済期間の長さとうんざりしながら、何とかなると言い聞かせてきたものだ。これを夢とっていいのかわからないが、そのために働くというモチベーションにはなっていたのではないか。

これも今や様変わり。車を欲しがらない若者が増え自動車メーカーも戦略を変えている。家を買うよりも、自由度が高く通勤に便利な都市部の賃貸で暮らしたほうが良いという人が増えているとも聞く。経済の発展が生活向上をもたらし、利便性ある暮らしを志向する流れができたのだと考えてしまう。だから所有よりもシェアする流れになる。もちろん現代の若者気質を否定しているのではない。

ガラガラと昔と今を比べてみても仕方ない。全て時代の流れなのだとは割り切ることで解決する。知りたいのは、ドライになった若者たちが、どんな夢を抱いているのかということ。起業を目指す若者たちのセミナーに参加し、具体的な事業計画を聞くと、なるほどと唸られる。ただ、多くがネット関連で、詳細な話になると知識不足でついていけなくなる。

それでも事業を語る若者の顔は輝いていた。時代は変わろうと、夢の姿は異なっても目標を持って行動する人には魅力が備わるのだろう。夢がなければ目標は定まらないし、目標がなければ計画し行動することもない。そこには何も生まれない。年齢に関係なく夢を持ち続けたいと思う。

【筆者紹介】 海部隆太郎 (かいべ・りゅうたろう)

海部隆太郎 (かいべ・りゅうたろう) 法政大学卒。日本工業新聞社、IT企業を経て独立。中小企業を中心に企業が抱える幅広い課題を取材・執筆活動を展開する。

令和元年度納税表彰式

(1. 11. 11 ホテル近江屋)



宮古税務署長表彰受賞者

栄えある受賞 おめでとうございます。

(敬称略・順不同)

氏名	市町村名	所属団体（活動組織）の役職名
佐々木 寛	宮古市	公益社団法人宮古法人会 副会長
石村 辰五郎	宮古市	宮古地区青色申告会連合会 理事

宮古・下閉伊地区納税貯蓄組合連合会会長表彰受賞者

(敬称略・順不同)

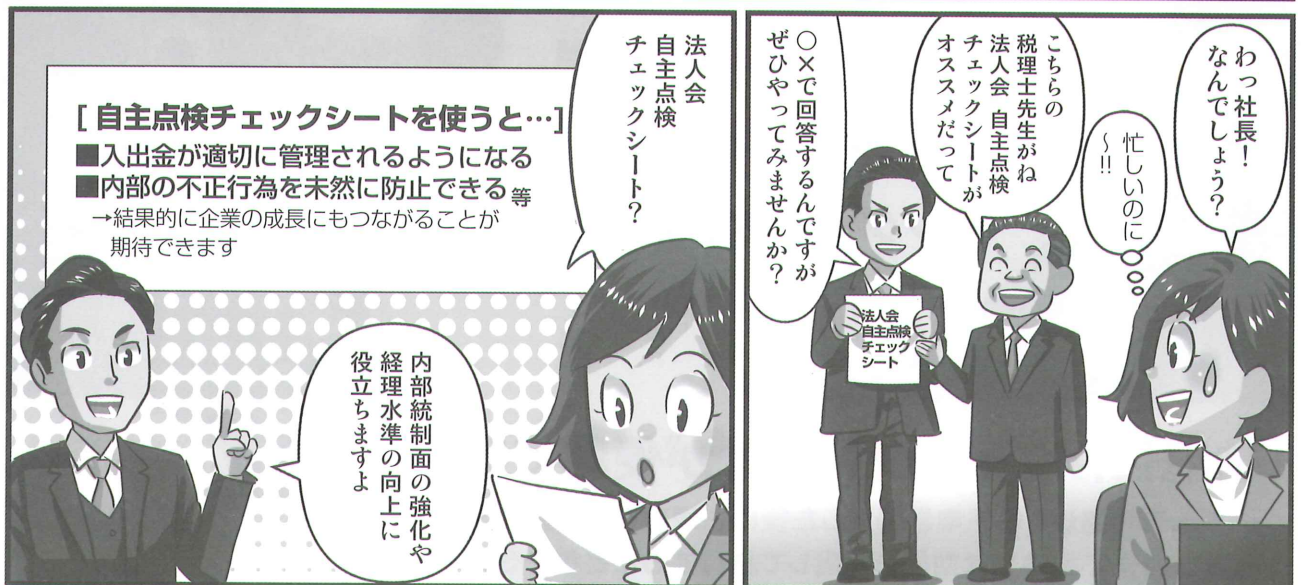
市町村名	納税貯蓄組合名	組合町名
山田町	新田第三納税貯蓄組合	勝山保男氏
岩泉町	田茂宿納税貯蓄組合	盛合英夫氏
田野畑村	切牛納税貯蓄組合	和山敏治氏

マンガ
でわかる!

法人会自主点検チェックシート

- 社内体制整備編 -

国税庁後援



お問い合わせ先



宮古法人会

電話番号 0193-63-1214

URL <http://www.miyako-houjinkai.com/>

マンガ
でわかる!

法人会自主点検チェックシート

- 社内体制整備編 -

国税庁後援



お問い合わせ先



宮古法人会

電話番号 0193-63-1214

URL <http://www.miyako-houjinkai.com/>